



平成最後の山登りである。まいたびのツアーに申し込むときはそのことを意識したわけではない。気が付いてさえいなかった。この山は3回目である。最初は学生時代(1965年)に西丹沢から城ヶ尾峠へ登り、ここで登山道の真ん中にテントを張った。こんなところを通る人はいなかった。翌日菰釣山を越えて山中湖まで降った。当時は道はしっかりついていたが、熊笹が両側から覆いかぶさって、腰をかがめて歩かねばならなかった。今この道は東海自然歩道の一角をなして楽々歩ける。2度目は2004年1月でまいたびでだ。4日に丹沢山(1567m)に登って雪なんかほとんどなかったのも、その10日くらい後の菰釣山には雪なんかありっこないと思ってアイゼンは持っていかなかった。“アイゼンなんて持ってないよ”と言ったらツアーリーダーの植草パパがあげさにガクッと肩を落とした。この辺りは丹沢山塊でも北西に位置していて低いからかえって降った雪が解けにくいみたいだ。アイゼンなしでも何とか上がったが、苦労はした。

この日も雨であった。満席の予定がキャンセル続出で、男6人、女6人である。最近皆簡単にキャンセルをする。おかげでバスは一人2シートであったのでこちらとしてはウハウハだ。知った顔はいなかった。ツアーリーダーは押田さん、サブは新津さん。

それほどきつい山ではなかったが、今の俺には楽なところなんてない。まあどうにか付いて行ったといったところである。雨はそれほど強くはなかったが、稜線に出ると風も少しあり、みぞれ交じりになったこともあって菰釣山頂で引き返した。天気が良ければ冬枯れの心地よい稜線歩きを楽しめたはずであるが、まあ仕方ない。